



扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 11
令和6年 10月 8日
TEL. 58-2178 校長室

回 覧

自治会の皆様
お願いします

〈校 訓〉 夢にいどみ 人と和す
〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

前期終了。通知表で振り返ってみましょう！ 相手に伝わるあいさつ、一生懸命さ、感謝の心、心から応援してもらえる人に！ マラソン・なべっこ楽しみです！

朝、玄関前に立っていると1年生が「校長先生、今日で9月も終わりだね。」と話しかけてくれました。「そうだね。〇〇さん、入学して6ヶ月、できること増えて、ずいぶん立派になったねえ！」と言葉を掛けるとにっこり笑って校舎に入っていました。学校横の道路で止まってくれた車にお辞儀をする1・2年生が多くなったことも成長のひとつです。お兄さんお姉さんの姿を見ているのです。毎日の変化は小さいかもしれませんが半年たつと大きく変化していると思います。通知表を本人と確認しながら、次に向かって動き出す材料にしてほしいと思います。



集会で次のような話をしました。難しいことなので、事前に担任に話し、学級で伝え直してもらいました。

①能代市の校長会が本校で行われた際、元気なあいさつで迎え入れ、「図書館は2階ですよ。案内します。」と言葉を掛けた児童がたくさんいたようで「五小の子どもたちいいなあ。心洗われるな。」と話す校長先生がいました。また、その様子を自分の学校で伝えた方もいたようです。うれしーい！



②あいさつ運動やクラブの指導に無償で来てくださっている方々がいます。あいさつが元気がなかったり、せっかく指導して下さっているのに聞く態度が悪かったりすると第五小のマイナスの発信になるんだよ。残念！

③スポーツ少年団の表彰の後に、「よく頑張っている。新たな目標をもって頑張してほしい。スポ少を頑張っているから、疲れたからといって勉強しないとか、学校生活がだらしなくなることはやめよう。学校生活をあたりまえに過ごし、スポ少も頑張るから成長できるし、その姿を大人や周りの人は応援してくれるんだ。心から応援してもらえる人になろう。」と伝えました。

頑張るのも自分、あきらめるのも自分。 自分の心と向き合うマラソン大会。

学級担任に協力して、体育の授業に参加する機会があります。私は、教室の授業はプロである先生方に任せた方が上手くいくと自覚しています。ただ、中学校の保健体育教員として授業してきたので、邪魔にならないアドバイスはすることにしています。

マラソン大会は苦しさを乗り越え競争し、順位を受け入れながら自分の体力の現在地を知る貴重な機会だと思います。「いやだなあー」という声はよく聞きます。大会で走るよりも長い距離を走る練習が必要なことを子どもたちは理解しています。そこで日体大レスリング部のトレーニングをやってみました。かけ声は「わっしょい！」。一列で走りながら最後尾がみんなを追い抜き先頭に立ち声を掛けます。最初は歩きながら、徐々にスピードを上げて大きな声で動いているうちかなりの距離を運動しています。「声を出してみんなで走っているうちにいつもより長い距離を走ることができた。」と子どもたち。「精神面が鍛えられるぞ。人にはそれぞれペースがある。最初からあきらめるのは無しにして、完走してほしい。終わったらおいしいなべっこがまっているぞ！」と話すとおう！」と答える五小っ子たちはめんこいです。目標をもち、今もっている力で頑張ってみる。そして振り返り、また次の目標に向かう。心から応援してもらえて成長し続ける五小っ子でいてほしいと願っています。



安全第一！無事故で！15日からの個人での登校よろしくをお願いします。